

平成25年6月13日

只見町議会議長 齋藤邦夫 様

議会運営委員会
委員長 大塚純一郎

議会運営委員会行政視察調査報告

本委員会の所管事項について、調査を行いましたので下記のとおり報告します。

記

1. 調査事項 議会機能並びに議会運営の充実を図るための施設整備に関する調査
2. 調査場所 山形県西川町議会、大石田町議会、山辺町議会、飯豊町議会
3. 調査日時 平成25年5月23日～24日
4. 出席者 大塚純一郎委員長、山岸フミ子副委員長、佐藤孝義委員、新國秀一委員、齋藤邦夫議長
5. 調査内容
視察場所 西川町議会
応対者 副議長、議会運営委員長、後藤事務局長
研修報告 昭和48年に建設された町役場庁舎の最上階に位置されており、最上階すべてが議会専用の階となっている。
議場の造りは、議長席を最上段に位置させ、各議員専用席を設けるなど、議会の聖域化を感じさせる荘厳なものとなっている。
また、傍聴者席を別入口とし、議会議場と完全分離する造りとなっていた。常任委員会に広報委員会を含めており、議会だより作成や議会報告会対応など広報広聴部門に力を注いでいる部分も見られた。

- 視察場所 大石田町議会
応対者 井苺事務局長、小玉主査
研修報告 昭和61年に建設された町役場庁舎の3階部分全体が議会専用室となっている。議場のほか、委員会室2部屋、大会議室という構成である。
議場については、天井も高く、周りに一切窓が設置されておらず、集中審議のできる議場構成に高い評価を示した。また、照明も全てLED照明となっており、明るく開かれた議会という印象を受けた。
議会基本条例の制定を行ったばかりで、議会活性化への取組みは今後の課題であるとのこと。

- 視察場所 山辺町議会
応対者 渡辺議長、江口事務局長、多田書記
研修報告 平成12年に建設された町役場庁舎の3階部分全体が議会専用室となっており、エレベーターでの移動ができる庁舎となっている。町村合併によ

り、現在の場所に移転し建設されたもので、耐震性に優れた建物である。

議場については、大石田町と同様に天井が高く、広いスペースとなっており、集中審議できる議場となっている。議員定数が平成19年より12名となったため、議場の席数が多くなっている。

山辺町は、ニット生産が主要産業の一つであり、議会においても「ニット議会」の別名があり、議会開会時には出席議員全員がニット製品を着用し、議会審議するとのことであった。

議長室や委員会室、議員控室等も議会専用室として活用しやすい室内構成となっている。

視察場所 飯豊町議会

応対者 宮川書記

研修報告 建築自体は新しいものでもないが、役場庁舎の3階部分が議会専用室となっている。その内、会議室については町当局と兼用し使用している状況である。

議場については、天井が高く明るい印象を受ける。また、各議員個別に机があり、個々の議員が調査研究できる環境となっている。

飯豊町議会は、議員定数10人の中で2つの常任委員会の定数を7人としている。そのため、2つの常任委員会を兼任する方もおり、議会運営に課題を持つ状況であった。

以上